

Pillar of Wisdom

学内報 知の柱

第20号

太成学院大学 www.tgu.ac.jp

〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾 電話 072-362-3731/FAX 072-362-0598 監修:学校法人 天満学園 学園企画室



見事な足立記念館前の桜並木(平成18年4月7日撮影)

YES プログラム

本学を教育訓練校に 厚生労働大臣が認定

就職活動に強い支援力

本学では、厚生労働省特別民間法人中央職業能力開発協会の、就職に向けて能力向上に取り組む若年者を支援するため、社会に通用する能力を持った人材を育成する「YESプログラム (Youth Employment Support Program)」の教育訓練施設校への認定を昨年11月に申請していたが、さる3月10日に厚生労働大臣の認定を受けた。

このプログラムは、コミュニケーション能力など企業が求める能力を身につけた若年者に、「就職基礎能力修得証明書」が厚生労働大臣名で発行されるもの。

本学がこのプログラムを導入した狙いは、1~2年次から就職に対する意識づくりとしてのキャリアデザインの一環として、本学既

存の授業科目を有効利用し、認定講座として修得した学生に交付される「就職基礎能力修得証明書」を必要に応じて活用することにより、自己アピール力を高め就職内定率に大きな期待できるといふ点である。

このプログラムは、事務・営業の職種について実際に企業が若年者に求めている「コミュニケーション能力・職業人意識・基礎学力(ビジネス文書の作成・読解/計算・計数・数学的思考力/社会人常識)・ビジネスマナー」資格取得の五つの就職基礎能力の領域を修得することが必要である。(別表参照)

キャリアサポートセンターでは、従来から各種の活動を継続的に実施して、1~2年次生のキャリアデザイン作り、3~4年次生の就職活動のサポートに成果を上げてきた。販

国立ローマ東洋美術館に大津絵を寄贈

石原 土教授の力作「鍾馗」

人間学部 石原 土教授は、以前より寄贈依頼のあった大津絵「鍾馗」を国立ローマ東洋美術館に寄贈した。国立ローマ東洋美術館は、ローマ帝国の栄光を刻む歴史的な古代遺跡に囲まれ、芸術の国イタリアの、華麗なる

美術館である。380年の歴史を刻む日本を代表する民画大津絵がイタリア人に親しまれ、日伊両国の親善と文化交流がさらに進むことが期待される。この寄贈である。



鍾馗(しょうき)の解説

中国の道教の神
唐の玄宗皇帝の夢に現れ、悪鬼を駆逐して皇帝の病を治したと伝えられる。江戸時代に日本に伝わり、疫病神を追い払う神として、男児のお守りとして鍾馗の武者人形が使われるようになった。大津絵では、額から頬へ生えあがった鬚が強調されるのが特徴で、右手に剣を持ち、ぎろっとした目で肩をいからせて立ち構図がものしい。

石原 土教授は、日本大津絵協会の会長でもあり、世界各国で大津絵の普及に活躍中で、わが国を代表する画家の一人でもある。寄贈された「鍾馗」は、教授の力作の一つで、社会法人日本中国水墨交流協会が2003年9月にローマで開催した「日本現代(伝統文化)墨絵展」に特別に出品され、関係者から絶賛された作品。このとき以来、ローマ日本文化会館館長を通じて、再三にわたり寄贈の依頼があったもので、このたびの実現に至った。

YES プログラム認定講座

認定番号	領域	教育訓練の実施方法	本学授業科目名
0521 A 197101	コミュニケーション能力	通学	ビジネスコミュニケーション
0522 A 197101	職業人意識	通学	キャリア形成論
0523 A 197101	ビジネス文書の作成・読解	通学	文書管理
0524 A 197101	計算・計数・数学的思考力	通学	数学の基礎
0525 A 197101	社会人常識	通学	マスコミュニケーション史
0526 A 197101	ビジネス・マナー	通学	秘書検定講座

義務付けられている資格取得
・MOS検定(マイクロソフトオフィススペシャリスト Excel、Word、Access、PowerPoint からどれか一つ)
・パソコン検定3級以上 / 初級シスアド / 基本情報技術者試験
・日商簿記3級以上 / 英検準2級以上 / TOEIC 500点以上 他

しい就職戦線が続くなか、求人倍率、就職内定率ともに全国平均を大きく上回る結果となっている。従来の活動にこのYES プログラムの効果が現れることで、本学卒業生の就職活動が大きく弾むことが予想される。

人事

(1) 新任



総合経営学部
教授 村本 満
産業カウンセリング
キャリア開発入門
キャリアデザイン



教授 大和 里美
キャリアデザイン
キャリアフィットネス論
観光マネジメント
ソフトウェアアリティ基礎・応用



教授 井手 裕美
オラクルコミュニケーション・II
英文法概論
英語コミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ



講師 高橋 清
健康管理概論
健康運動論
健康スポーツ演習2



講師 池辺 晴美
健康管理概論
トレーニング概論・実習

教育職員 (平成18年4月1日付)

(2) 異動

総合経営学部
学部長 山田 晃
教務部長 佐藤 好英
学生部長 関戸 恒昭
キャリアサポートセンター長 森山 輝夫
教職課程長 佐藤 好英
人間学部
学部長 春田 利雄
学部長 笠井 昇
助教授 (総合経営学部からの異動) 金杉 高雄
図書館長 室屋 洋一
情報センター長 中村 明德
エクステンションセンター長 八木 一成
学生部顧問 黒川 和政

(3) 退職

総合経営学部
教授 松崎 光弘
助教授 伊東 和彦
人間学部
学部長 太田 幸男
学部長 恵谷 弥生
教授 松熊 義昭
教授 吉野 俊彦

事務職員 (平成18年4月1日付)
(1) 新任
キャリアサポートセンター職員 服部 修三

内之宮則子助教授が講演

福 島 県 いわき市

平成17年11月18日(金)いわき市社会福祉協議会主催の依頼で、第31回いわき市総合社会福祉大会で記念講演した。テーマは「進む少子化と家庭・地域のあり方」であった。

講演内容の概要は以下のとおり。

高度経済成長の中で、女性の就労が一般化したものの、出産期・育児期に就労を中断して家事・育児に専念し、育児が一段落した中期に主としてパートで再就職するといういわゆるM字型雇用が定着してきた。ある時期までこのM字型雇用は、先進国に共通すると認識されていたが、日本でも顕著な特徴となっている。女性に一種集中した家事育児負担、出産するを退職せざるを得ない女性の就職環境などが、晩



内之宮則子助教授

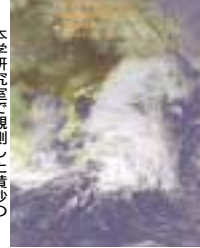
春は黄砂の季節

衛星画像で鮮明にキャッチ

環境観測研究室

どんよりとして視界が悪く、洗濯物が汚れたり、土埃っぽい、あまり良い気持ちがない春の季節の一つの現象です。これを「黄砂」と言つことは存じないと思います。黄砂の生い立ち、黄土地方、タクラマカン砂漠やゴビ砂漠の中国大陸内陸の乾燥地帯とされています。砂嵐に巻き上げられ、高度1万1千メートルに達し偏西風に乗って朝鮮半島から日本列島の日本海側や九州地方に飛来し、その量は、吹き100万トンと言われています。例年、3月からは5月にかけて見られます。砂は直径0.1マイクロメートル(100万分の1)程の粒子で、大気中に浮遊しエアロゾルを形成している、視程が10キロメートル以下になると気象現象として、「黄砂」と呼ばれます。

ところが、近年、黄砂の発生が春先だけでなく秋にも



観測され、九州や中国地方の新聞で報道されました。この紙面に掲載した衛星画像は本学で観測したその一枚です(2005年11月6日受信)。昔と異なり、高度8000メートルから見た地球は想像を超えた躍動と、また少し違った希有な感覚を抱かせます。環境問題やエネルギー問題が世界規模で検討され、また、気候が人間に及ぼす影響が重要な要件として科学的な研究が始まっています。太成学院大学環境観測研究室では、これらの基礎的なデータの取得と収集、環境への関心を深めるべく充実させてゆく努力をたくと考えています。

(http://east2028.tgu.ac.jp/~環境情報が見られます)

環境観測研究室担当 竹原明伸教授
状況画像 村田史之教授

性の自立、自分らしい生き方、自分のために生きる」など女性のライフスタイルが大きく変わってきたことも晩婚化、晩産化の要因ともなっている。

また一方で、男性の独身化も増え、独身時代の気ままな快適生活捨ててまで、結婚生活を続ける必要性を感じていない。

私達はいつの間にか、パソコン、ケータイ、ゲームなど、家族関係、親子関係以外のことにエネルギーがいきがちになっている。そのことが、子供を産み育てるといふ人間におけるきわめて価値ある営みの重大さを、家族

親子のあり方の中で育んでこなかったことを社会全体の責任として考えなければならぬのではないかと思う。

兄弟姉妹の少ない時代は、結局子供に接する機会が少ないがために、「かわいい」「欲しい」という認識を持ってなくなっているのではないだろうか。

幼少期から家庭(home)のあり方と家族(family)のコミュニケーションを大事にする環境作りがますます必要な時代となっている。本学の学生重視の取り組みなど話しながら講演を結んだ。

理科体験授業

を 開 催

美原西小学校1年生

尾上研究室



本学は、地域に開かれた大学として、地域との交流に日々努力している。さる3月8日(水)、地元の美原西小学校の依頼に因って、本学西館102講義室と電子顕微鏡研究室で理科の授業が行われた。

今回来学した児童は、全員1年生で30名。マワリを走査電子顕微鏡で観察することが目的だった。アリの頭やヒマワリの葉の裏のトゲの拡大面に歓声をあげていた児童。この日持参したヒマワリは、1年生全員でタネを蒔き、水やりをし育てたものをこの日のために保存しておいたもの。さわるこたくりとする葉の裏のトゲや、やった水が導管を通り葉や花に広がっていく様子を観察した。小学校の授業では不可能な観察ができて、生徒には非常に貴重な体験になったと思われる。なお、この授業に4年次生の菅沼 喜君、3年次生の鈴木妙帆さん、菊池智恵さんの3名にアシスタントとして協力いただいた。今後も、本学の設備と人的資源を地域で活用していただき、地域との交流を深めていきたい。

大阪府学生バレーボール連盟

選抜チーム ミャンマー・タイへ遠征

団長に人間学部 河合信行教授



スポーツ大臣が激励のために来場

大阪府学生バレーボール連盟に加盟している大阪府下の大学チームから13名の選手を選抜しミャンマー・タイへ昨年12月21日から9日間、遠征し、バレーボールの発展途上であるミャンマー・ナショナルチームと対戦した。

空港での歓迎ぶりは大変なもので、ナショナルチームから全員に花束をいただき、歓迎レセプションは宮殿のような会場で、ナショナルチーム・ジュニアチームと総勢が招待を受けた。

事前にミャンマー協会からの依頼で、国際審判の経験を活かしてミャンマーの審判員メンバーを対象に、団長の河合信行教授を講師として審判指導講習会をもった。

試合会場にスポーツ大臣が来場され、選手全員に激励の握手を交わした。ミャンマーバレーボール協会のスポーツへの力の入れように驚きと感動をもって帰国した。

高度化多様化する看護・保健医療サービスに対応する人材育成を!!

看護学部 平成19年4月新設へ (認可申請予定)



看護学部実習棟の完成予想図

学校法人 天満学園では、近年、急激に進んでいる高齢化に伴い、とりまわく社会情勢の变化と、本学既設の人間学部心理学科健康心理学コース・人間文化学科健康スポーツコースや総合経営学部経営情報学科等の内容充実を進めるなかで、保健医療へ更なる積極的発展的活動の方向性を検討するなかにおいて、高等学校進路指導の先生方等から貴重なご意見をいただいた結果、本学に看護学部看護学科(仮称、定員80名)の新設構想が教授会で承認され準備を進めることになった。文部科学省への申請予定は本年6月で、開設は平成19年4月を予定している。

長期看護・訪問看護・ターミナルケア、核家族化や少人数家族化の進行に伴う家族内介護の必要性等、医療の開発進展とともに看護サービスの高度化多様化と必要性が高まっている現状がある。本学に看護学部(仮称)を新設することは、現在の社会情勢や医療現場の要請に応えることになるとともに、社会へも大きな貢献ができるものと期待が寄せられている。

看護学部設置の趣旨と方針

看護学部新設構想準備室主幹 古谷 昭雄 教授



古谷 昭雄教授 医学博士

学校法人天満学園は今年で創立71年目を迎え、建学の精神である「教育は徳なり」を創立者の教育理念として、これを体して教育を行ってきた。このたび本学のこの教育理念に基づいた新学部として医療専門職者育成のために看護学部の新設構想設置計画の準備を進めることになった。計画の骨子にはわが国の看護専門職者の大学高等教育機関における人材育成の急務と医療技術の驚異的な開発に伴い看護学の大学教育に対する社会からの大きな期待とニーズに応えるための二つを基として策定を行った。

建学の精神について
本学の建学の理念は「教育は徳なり」であり、この徳とは修養によって身に具った品性や善や正義を貴く人格的能力を持たせること、人から信頼を得る人柄や行いができる人物の養成を行うこと、

地域と連携する看護・保健専門職者に

徳を備えていけばおのずから外に現れ、自分の身を立派にすることに繋がっていく。つまり徳性を養い伸ばす教育をすれば礼節を重んじる人格形成につながることを理想としている。この理念を基に豊かな人間性を持ち、高いコミュニケーション能力やさらに高い倫理観を兼ね備えた看護師・保健師・助産師の養成教育を行っていきたく考えている。

今や医学、看護学の方向性は「医療」と「保健」と「福祉」が一体となったチーム作りが進行している。そのチーム作りのリーダーとしてリードしていくスペシャリストが要求されている。それを旨とする「現場に強い看護専門職者」となるような人材の育成をしていかなければならないと考えている。

本学看護学部がめざす特色
そのための看護学部の特徴として進めたいのは、「地域との連携」に重点を置いていく必要がある。地域といえは言うまでもなく本学が位置する大阪府堺市を中心とした大阪府の南部地区での病院、保健所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーションなど地域に求められる看護教育を構築していかなければならない。特に地域看護における訪問看護や在宅ケアサービスが急速に進んでいる昨今であり、本学の教育を受けた卒業生が地域医療のリーダーとしての役割を果たしていけるような人物を育成していかなければならない。その育成の基本は心と心の触れ合いを大切にできる人間性とコミュニケーション能力と基礎医学の専門知識を備えた医療現場での実践に強い看護専門職者の人材育成にかかっている。

教育実践研究内容について
教育研究の対象とする中心的な学問分野は保健衛生学としての看護学の領域であり、本学の特色の一つとして既設の学部学科と有機的に結びつけることができる利点を活かして、教育研究に際しても多角的、個性的に社会貢献ができる大学としての教育活動の実践が本学に課せられた重要な社会的使命である。本学独自の授業や臨床実習の仕方と内容を深め、さらに教育環境の整備に努めながらダイナミックに展開を続けていく即戦力としての人材育成に力を注いでいかなければならない。

既設学部との有機的とり組み
本学の教育研究の特色の一つとして基礎医学と看護学との連携を重視した科目の設定や

プロジェクトチームの結成を進めていきたい。近年生活習慣病や痴呆症やパーキンソン病さらに悪性腫瘍といわれているがんの究明など新しい知見や基礎知識の習得を取り入れた看護実践教育を推進していきたい。本学はまた人間学部と総合経営学部2学科4学科を持った大学であり、その利点を最大限に活用するために、人間学部の心理学や健康スポーツに関する分野との連携学問として臨床心理学や健康心理学やスポーツ医学などとの連携や、総合経営学部の情報処理に関する分野との連携学問としての看護情報処理や看護に関する管理運営と経営を学ぶ看護マネージメントや、国内外での災害看護に関する知識を修得できる災害看護論やさらに人権や生命倫理にも関わる看護生命倫理学などを取り入れていくつもりである。

以上の特色的な分野を含めた総合的な教育を推進していくためには次の4項目について重点的な能力開発として

- 1 問題解決能力
- 2 論理的構成能力
- 3 情報処理能力
- 4 コミュニケーション能力

ができる看護専門職者の養成を心がけていくつもりである。

資格取得については看護師、保健師、養護教諭の取得可能なカリキュラムを編成し、助産師については専攻科等で別途取得できるように早急に整備していくつもりである。卒業後の進路については公立病院、保健所、保健センター、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、企業の産業保健部門などを目指すことができ、養護教諭取得者は公立学校の保健室へ、助産師取得者は助産施設など多岐にわたる就職先が考えられる。

将来の構想
大学院については、今後の構想の中で検討していきたい。また同時に「看護実践国際研究センター」として国際的に看護学の発展に寄与することを目的としたセンターの設立を考えている。医療、保健、福祉に関する施設や機関と連携を取りながら、質の高い看護教育や看護実践の活動を活性化させることのできる場を提供していきたい。プロジェクト研究や研修会、研究会、発表会、講演会などを開催しその成果を地域の看護活動に発信していきたい。主として大阪府の南部地区における実践看護教育の拠点となるような「社会に開かれた大学」を目指していきたいと考えている。



スポーツ施設の拡充 急ピッチ

(学園創立70周年記念
教育事業の一部)



全天候型人工芝テニスコート(12面)



ナイター設備も完備 本格的硬式仕様による野球場



多目的研究棟で反省や研究を議論も



サッカー兼ラグビー場ナイター設備・得点板・本部観
覧席も完備された多目的球技場)



レストハウスで一息を

清滝スポーツヒルズ：所在地 大阪府四条畷市大字逢坂471 1

ゴルフ練習場



学内にも ユニークな 施設

キャンピントラクター
活用する野外炊飯実習場



柔道場(326㎡)



室内温水プール(6コース25M)

鴻池 スポーツ キャンパス



トレーニングルーム(エアマシ10種類)



剣道場(358㎡)

所在地 大阪府大東市諸福7 2 23

移動ロボットの安全に関する考察

A Study on Safety of Mobile Robot

中村 明德 (太成学院大学)

Akinori NAKAMURA, Taisei Gakuin University, Sakai city, Osaka 587 8555

A mobile robot shows itself a rapid expansion from a traditionally industrial to a partner robot in its utilization. In the present research, we observe safety of mobile robots through its development and evolution in a convivial society in which human beings and robots should coexist.

Keywords : Mobile Robot, AGV, Safety of Robot, Issac Asimov's Law



fig.2.1 Kawasaki Unimate(1968)

1. ロボットの起源

ロボットという言葉は、チェコの作家カレル・チャペックが1920年に書いた戯曲「ロサム万能ロボット」に登場する「ロポータ」がその起源とされている。これを受けて1946年、アメリカのSF作家アイザック・アシモフはロボット三原則を発表する。

1.1 アシモフのロボット三原則
この三原則は簡潔に書かれているが、機械を擬人化してはいけないとするチャペックの主張を踏襲している。

アシモフは原則①で、ロボットは「人間に危害を加えない」という最重要命題を宣言するにとどまらず、原則②で「人間が危うくなっているのを見逃してはいけない」としているのである。ロボット自身が安全の倫理を持たなければこの原則は成り立たないことになる。また原則③では「ロボットは自分を守らなければならない」としているが、これを実現するにはロボット自身に極めて高度な自律機能が必要になることを示唆しているのである。

1.2 産業用ロボット

ロボットが人間の役に立つようになるのは1960年代を待たなければならなかった。インダストリアル・ロボットという用語がアメリカの新聞「メンタルマーケッ」で初めて使われたのが、産業用ロボットの始まりである。このロボットは、デボルトの特許「プログラムド・アーティクル・トランスファー」によるプレイバックロボットであった。エンゲルバーガーは、1960年ユニメーション社を設立し実用化ロボットの第一号機「ユニメイト」を発表する。

余談ながらエンゲルバーガーは、ロボット三原則を提唱したアシモフとは、コロンビア大学理学部で席を並べた親友である。

2. 殿様から飛脚へ

1960年代は、産業用ロボットの当たり年代となった。さきにふれた実用化ロボットの第一号機「ユニメイト」について、1962年にはアメリカのAMF社が「パーサラン」を商品化、1968年には川崎重工がユニメーション社と提携して「ユニメイト」(fig.2.1参照)を国産化し、わが国でも急速に産業用ロボットが普及する。

当時の産業用ロボットは、殿様であった。デンと構えて手だけを振り回す。けつて自らこちらにやってくることはなかったのである。1970年代になって飛脚ロボット(fig.2.2参照)が開発される。足をもつ移動ロボットの誕生である。移動ロボットは、あたかも飛脚のように自律的に用があるところには参見することができ。

この移動ロボットはAGV(Automated Guided Vehicle)と呼ばれ、愛知万博で観客の案内などで活躍したロボットの多くがこの技術をベースにしている。

I F R (International Federation of robotics)の統計によると、世界のロボット台数は、1985年には14万台を超えていたが、その後急速に増加し、現在では80万台を超えている(fig.2.3参照)。このうち、わが国は35万台を占めダントツである(fig.2.4参照)。ちなみに第2位はドイツ、アメリカが11万台、第3位のイタリアは5万台である。

産業用ロボットは、自動車産業や電子工業における製造技術の発展を支えてきた。しかし、いまやパーソナルロボットや人間型ロボットが実現するにいたって、その応用分野も非製造業におけるサービスや人々の生活支援へと拡大している。

3. 飛脚からパートナーへ

先にふれた自律移動機能をもつ飛脚ロボットは、いまや人間と協調し共存できるパートナーロボットへと進化している。ホンダが1996年に二足歩行人型ロボット「P2」

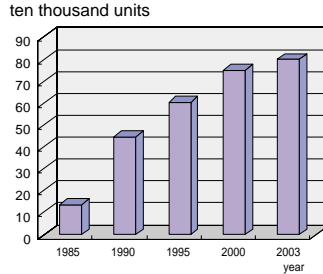


fig.2.3 A shift of the number of robots in the world



fig.2.2 Daifuku Promtow (1970)

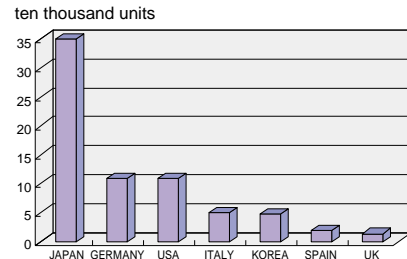


Fig.2.4 The number of robots in a country by country



fig.3.1 Mujiro (Tmsuk)

を発表し、ソニーがエンターテインメント型ロボット「AIBO」を1999年に発売、2000年にはホンダ「ASIMO」によるステージショーが見られるようになった。これらが契機となってパートナーロボットへの関心が急速に高まった。愛知万博でも、北九州のロボットベンチャーのテムザックが、道中ガッパに三度笠をかぶった警備ロボット「ムジロー」(fig.3.1)、NECが子供の遊び相手をするチャイルドケアロボット「PaPeRo」などを出展、会場はパートナーロボットのオンパレードとなった。

文部科学省が実施したデルファイ法による予測調査では、「一家に一台、掃除・洗濯などができるとお手伝いロボットが一般化する」も時期は、2011年から2015年とする回答が最も多かった。もうすぐ、ロボットと人間の共生社会になるのである。

4. 移動ロボットの安全対策

AGVの開発によって移動ロボットの自律化が急速に進むなか、中央労働災害防止協会が平成元年(1989)にまとめた「無人搬送車の安全対策研究委員会報告書」では、移動ロボットの安全対策として以下のガイドラインを採択している。

- ①移動ロボットの電動機は80Wをこえないこと
②移動ロボットの速度は毎分60mをこえないこと
③移動ロボットのリフトは100mmをこえないこと

他方、平成6(1994)年から9年にかけてAGVに関する日本工業規格「JIS D 6801-6805」が制定された。筆者らは、第17

回高度情報化技術研究会(2004)で次の移動ロボット安全五原則を提案した。

- ①移動ロボットは、より生物らしい又は愛らしい外観でなければならない
②移動ロボットは、電動でなければならない
③移動ロボットは、低速でなければならない
④移動ロボットは、人に危害を与える突起物があるてはならない
⑤移動ロボットは、人間以上の安全知能をもたなければならない

また翌年の第18回大会で、移動ロボットの行動環境に対応するための以下の3項目を提案した。

- ①移動ロボットの使用者が誰であるかを明らかにしなければならない
②移動ロボット自身がエネルギー源を確保する能力をもたなければならない
③移動ロボットは、自律で使用者のところに帰るための帰巣機能をもたなければならない

他方、テムザック社は、ガンダムで知られるメカニックデザイナー石垣純哉氏、感性アナリストで随筆家としても活躍中の黒川伊保子氏を起用し、本質的な移動ロボットの安全確保に取り組んでいる。同社では、移動ロボットの使用者に2時間の講習プログラムを用意し、自動車の車検のような定期点検体制を整えている。

5. ロボットの市場規模

日本ロボット工業会のまとめによると、ロボットの市場規模は、2000年に6,600億円であったが、2025年には6兆円に成長する

中村明德教授が講演
アドバンジウム シンポジウム
ビジュアルオートメーション研究会主催のアドバンジウム・シンポジウム2005は、平成17年12月16日、17日の2日間、同志社大学大学院で開催された。このシンポジウムには国内外の移動ロボットの研究者300名が参加し、32件の研究発表が行われた。本学からは、総合経営学部中村明德教授が「移動ロボットの安全に関する考察」をテーマに講演した。



中村 明德教授

移動ロボット研究者100名参加
人間とロボットの共生の課題は、いまの社会が暮らしやすいようにデザインされていることである。しかしロボットにとっては、これが過酷な「極限環境」であることを理解しなければならぬ。移動ロボットの安全知能のさらなる研究開発と、ロボットを包含した社会規範の新たな構築が急務である。いまや移動ロボットは、情報ネットワークと接続される新しい情報通信端末としての可能性を持つようになった。今後、ロボティクスは、実世界情報システムとしての、さらなる発展が期待される。

と予測している。従来の産業用ロボットよりも福祉、医用、ベトナムなど社会、パーソナルユースが増えるためである。いままでは、ロボット工学が主体であったが、今後は社会学、心理学などを包含したロボティクスとしての総合的な展開が必要である。

6. 人間とロボットの共生の課題

いまの社会は、人間が暮らしやすいようにデザインされている。しかしロボットにとっては、これが過酷な「極限環境」であることを我々が理解しなければならないのである。ロボットの安全知能のさらなる研究開発と、ロボットを包含した社会規範の新たな構築が急務である。いまや移動ロボットは、情報ネットワークと接続される新しい情報通信端末としての可能性を持つようになった。今後、ロボティクスは、実世界情報システムとしての、さらなる発展が期待される。

参考文献

- 1) 井上博充他、ロボット学創成、岩波書店(2004)
2) 舘 暁、ロボット入門、ちくま新書(2002)
3) 山藤和男他、独自のロボットの研究開発、養賢堂(2002)
4) 中村明德他、学生のためのITテキスト、共立出版(2001)
5) 中村明德、ロボティクスの今昔、研究フォーラム2005論文集 pp.14(2005)
6) 中村明德、物流システム、日本ロボット学会誌 vol.13 6 pp.54-57(1995)
7) 中村明德、AGVのゆくえ、省力と自動化 vol.26 12 pp.82-87(1995)
8) 中村明德、無人搬送設備の現状と技術課題、電気学会論文誌 vol.114 pp.115-116(1994)
9) 中村明德、搬送技術の動向と課題、日本機械学会全国大会論文集 pp.35-37(1993)
10) 中村明德、物流システムにおけるヒューマンファクター、ROBOMEC'92講演論文集 pp.509-512(1992)

高度情報化技術研究会に 本学から総合経営学部学生3名が発表



高度情報化技術研究会(会長、中村明德・太成学院大学教授)が主催する第19回学生発表大会は、2月18日、産業技術短期大学を会場に200名が参加して開催された。写真、本年度は、7校から37件の研究発表があり、太成学院大学からは、総合経営学部4年次生の石橋豊隆君、大武翔君、多木志郎君の3名が研究成果を発表した。発表テーマと要旨は次の通り。

3 「ドラッグストアの経営戦略に関する研究」
要旨…繁華街でももちろん、今では地方でもドラッグストアの進出が目立っている。これだけドラッグストアが伸びているのに、なぜか赤字があるはずである。本研究では、ドラッグストア業界の事情を調査し、ドラッグストアの成長要因を明らかにするとともに、ドラッグストアの今後の発展を展望する。

2 「パートナーロボットの安全規範に関する考察」
要旨…産業用ロボットは、自動車産業や電子工業における製造技術の発展を支えてきた。しかし、いまやロボットの応用分野は、非製造業におけるサービスや人々の生活支援へと拡大し、ロボットはパートナーロボットへと進化している。本研究では、人間と協調し共存できるパートナーロボットの安全規範を考察する。

1 「バイオメトリクス認証技術の比較に関する研究」
要旨…セキュリティを確保に関しては、ICやパスワードを用いる技術で安全性は確保されてきたが、IT技術の進歩により、個人情報情報が漏洩するリスクが高くなってきた。そこでセキュリティへの関心が高まり、現在、バイオメトリクス認証技術に注目が集まっている。本論文では、バイオメトリクス認証技術の特徴を明らかにし、それぞれの技術の有用性を比較した結果を報告する。

本学では、授業内容をより充実させるため、ハード・ソフト両面の整備を着々と進めている。その一環として各期の終了前に学生による授業アンケートを実施。平成17年春夏期の結果がまとまった。このアンケート結果を十分検討して、授業方法・内容をより改善充実させるために生かしたい。

学生による 授業アンケート結果について

【アンケート項目】

- Q1 この授業を履修するときに「授業計画」シラバスは参考になったと思いますか？
- Q2 あなたは、この授業に私語をせずに出席していたと思いますか？
- Q3 あなたの欠席回数は、およそ何回でしたか？
- Q4 この授業のために、予習・復習・自習をよくしたと思いますか？
- Q5 この授業1回あたりの平均予習・復習時間は、推定何時間でしたか？
- Q6 途中入場・退場せずにあなたの受講態度は、良かったと思いますか？
- Q7 興味を引く授業内容であったと思いますか？
- Q8 授業のねらいや目的について理解できたと思いますか？
- Q9 授業の内容をよく理解できたと思いますか？
- Q10 この授業は、あなたにとって役に立ったと思いますか？
- Q11 担当教員の話方は、わかりやすかったと思いますか？
- Q12 授業の進め方は、まとまりがあったと思いますか？
- Q13 黒板の使い方は、良かったと思いますか？
- Q14 プロジェクタの使い方は、良かったと思いますか？
- Q15 担当教員は、十分な授業準備や教材の工夫をされていたと思いますか？
- Q16 授業を通じて、担当教員の熱意を感じましたと思いますか？
- Q17 私語などの授業中の妨げに対する担当教員の対応は、良かったと思いますか？
- Q18 この授業を後輩にすすめたいと思いますか？

科目名 両学部 全教科 担当者名 全教員

科目名	両学部	全教科	担当者名	全教員
Q1	776	1178	4281	634, 425
Q2	2155	1843	2532	620, 139
Q3	2142	1363	1736	1194, 843
Q4	343, 664	2707	1837	1725
Q5	323, 1370	1840	3559	
Q6	2632	1624	2335	562, 141
Q7	1706	2135	2750	515, 185
Q8	1391	2198	2964	582, 161
Q9	1233	1949	3154	761, 203
Q10	2004	2098	2550	501, 143
Q11	1836	2150	2573	532, 208
Q12	1726	2072	2846	492, 150
Q13	1173	1446	3229	651, 235
Q14	1016	1063	2286	253, 187
Q15	1610	1978	3231	343, 111
Q16	2313	2165	2427	284, 108
Q17	1851	1907	2922	442, 174
Q18	1937	1688	2989	296, 210

【評価基準】

- 思う
 - やや思う
 - 普通
 - あまり思わない
 - 思わない
- Q3
● 0回
● 1回
● 2回
● 3回
● 4回以上
- Q5
● 2.5時間以上
● 約2時間
● 約1.5時間
● 約1時間
● 約0.5時間以下

働くことの意義を講演する
室屋洋一教授



開催日 平成17年11月18日(金)
対象者 人間学部2年次生
講師 室屋 洋一教授
テーマ 「働くことは生きることに」

仕事に取り組む心得を講演する
関戸恒昭教授



開催日 平成17年11月18日(金)
対象者 総合経営学部2年次生
講師 関戸 恒昭教授
テーマ 「仕事の世界を覗く」

活発に開催される進路ガイダンス

開催日 平成17年12月9日(金)
対象者 人間学部3年次生
講師 (株)ザ・メディアジョン大阪支店長 石原 心平氏
テーマ 「エントリーシートのポイント」

開催日 平成17年11月11日(金)
対象者 総合経営学部3年次生
講師 NECシステムテクノロジ(株) 関西アドミニストレーションセンター長兼人事マネージャー 熊本 圭介氏
テーマ 「企業の求める人材」



エントリーシートの指導を受ける学生たち



さまざまなデータを使っている講演者

エクステンションセンターニュース

学内に高まる資格挑戦意欲

第2回・第3回 合格奨励金授与式を開催

本年度第2回合格奨励金授与式は12月21日(水)、第3回合格奨励金授与式は1月25日(水)、本館2階202講義室で開催された。第2回合格奨励金授与式の対象者は、マイクロソフト オフィススペシャリスト、WORDの合格者41名、第3回合格奨励金授与式の対象者は、TOEIC(500点以上)71名、色彩検定2級合格者4名、色彩検定3級合格者6名の11名であった。合計52名の資格取得者に対し、人間学部太田幸男学部長、総合経営学部坂元保秀学部長より、一人ひとりに合格奨励金授与証書が渡された。52名の資格取得者のうちで特筆すべきことは、

1 人間学部の2年次生がTOEICで800点を超える高得点をマークしたこと。
2 マイクロソフト オフィススペシャリスト、WORDの合格率が99%と非常に高かったこと。合格率が高かった要因として、先輩が後輩のパソコン指導をする本学独自のSA制度、Student Assistant制度の成果が出たものと思われること。
3 今まで合格者がなかった色彩検定2級に4名が合格したこと。
さらに、平成17年11月13日(日)に開催された福祉住環境コーディネーター試験でも2級に1名合格しており、学内に資格に挑戦する意欲の高まりが感じられる。平成18年度については、平成17年度とほぼ同様な特別プログラムを予定している。ただし、ダブルスクールプログラムのうち、デジタルデザイン講座のコースについては、申込者が少なかったため、募集は行わないこととなっている。

に決定した。特別プログラムの主なスケジュールは左記の通りである。
新年度セミナーでの講座内容の説明
新入学生 4月10日(月)
在学生 4月3日(月)
個別相談会
4月14日(金)、18日(火)、19日(水)
体験講座
4月17日(月)
内容・色彩検定講座(3級・2級)の魅力
申込締切日
4月21日(金)色彩検定3級、販売士3級
福祉住環境コーディネーター3級
5月31日(水) 右記以外
資格を取得すると、自信につながり将来への展望が開けるだけでなく、就職活動にも有利である。エクステンションセンターでは、一人でも多くの学生が資格を取得して夢が実現できるようサポート体制を充実していきたい。

合格体験記

テキストの理解を徹底

人間学部 心理学科 3年次生 阿曾 由佳子
福祉住環境コーディネーター 2級合格



初めての挑戦で福祉住環境コーディネーター1級の2級に合格することを飛躍しての試験だったので不安はありましたが、ギリギリといえ合格出来たことを嬉しく思います。私は記憶力が良くなってきたか覚えることができた。用語を覚えたとしてもそれがどんな意味を持つのか、似たような内容もあるの間違て覚えてたりして何度も同じ所を覚え直していたので、他の所に進めなかつたりしました。

語句の暗記と色の理解

人間学部 心理学科 2年次生 藤川 泰永
色彩検定 2級合格



色についての感性もあと思っていますが、まず講座を受けることが必須であると思います。一番重要なのは色の概念を自分なりに理解している事。正直問題を解くと分からなくなる可能性が大きい。色について自信がある、多少の知識がある方は独学でも構いませんが、いきなり問題を解くよりも講座で購入する全国服飾教育者連合会の本を覚える方が良いと思います。分かりやすく、図もそのまま、本当にそのまます形で試験に出るので、その教科書だけでも受かると思います。



合格奨励金授与と証書を手渡す太田幸男人間学部長

先生から配布される過去問題集、模擬試験検定試験予想問題はきちんとやって間違いないように正しく正解率を増やしていくことが大切です。私の場合は過去問題集もテキストも繰り返し読み、先生が要点をまとめて配布してくれました。私はまだ知識不足でもっと勉強する必要があります。合格者セミナーというのが近いうちに開催されます。そのセミナーでは福祉住環境コーディネーターとしての実際の活動を画像で見、解説を聞くことによ

2級を受けるにあたって、3級の勉強も欠かせません。勉強するときに詳細を覚えるより、色の感覚、色は何色等の勉強に重点を置いて勉強しましたが、自分の苦手な所を覚えた方がよいと思います。試験はほとんどが選択であるので、語句を覚えるより理解することが大切だと思います。負いわず頑張ってください。

総合経営学部 学位記授与式・卒業記念パーティー

新たな世界に飛び立つ



晴れの舞に迎えられた卒業生たち

学位記授与式(総合経営学部)が、3月15日水足立記念館3Fホールで挙行された。足立理事長、学長より82名の卒業生一人ひとりに学位記が手渡され、大きな拍手が送られた。足立理事長、学長より「複眼的な物の見方で問題解決力を高め、力強く生きる力を身につけてほしい。同時に他者を思いやり理解



学位記を手に思わずポーズ盛り上がる卒業記念パーティー

する豊かな心を持って進んでほしい」との辞が述べられた。来賓代表の祝辞に続き、在学生代表の送辞、卒業生代表の答辞があり、学位記を手にした卒業生一人ひとりが4年間の名残惜しい思いを胸に感激に浸った。式典終了後、大阪市内のホテルを会場として卒業記念パーティーが開催された。卒業生と教職員とが一堂に会する最後の機会となり、4年間の思い出や卒業後の決意等で盛り上がり、大ピンコ大会で最高潮に達した。この記念パーティーは13名の実行委員が企



全国大学実務教育協会
上級情報処理士
59名が資格取得

本学の3~4年生のうち、本年度59名が「上級情報処理士」の資格を申請し、全員が資格を取得した。この資格は、全国大学実務教育協会が認定する資格で、決められた履修課程をすべてクリアし、申請が認められて取得できる資格。取得者の中で特に成績が優秀だった平井健一君が会長賞に選ばれ、3月15日に挙行された学位記授与式で授与された。

「上級情報処理士」は経営企画に参画できる能力の証であり、創造的発想能力で、組織の中でいかにコミュニケーション、情報ネットワークを活用し、業務の効率化を図っていくかを企画・提案できる場が広がる。さらにマネジメントの知識と情報技術活用力の両方を生かせる企業の情報システム部門のスタッフ、マネジメントのリーダーやシステム開発部門のスタッフなど、「システムエンジニア」企業の経営上の問題を情報技術を使って解決したり、「企画・提案できる経営コンサルタントやシステムアドミニストレータなど、経営情報関連コンサルタント」などの道がある。

進級・卒業認定者 (平成18年3月15日現在)	3年次への進級	卒業認定者	86名
	在籍者 認定者	235名 186名	在籍者 認定者

フィールドワーク

ワインの醸造過程と
ワインと健康との関連を修得

実施日 平成17年12月17日(土)
先業 河内ワイン工場と河内ワイン館
「健康と微生物」
授目 発酵の講義の理解を深めるためワインの醸造過程を学び、合わせてワインと健康との関連・ワインの味わい方を学ぶ。
担当教員 尾上 孝利教授

河内ワイン館を見学

無料利用券をぐんと増やす
東急スポーツオアシス
担当 学生課

学生サービス向上の一環として東急スポーツオアシスと法人契約している。日頃、運動不足と感じている人、リフレッシュしたい人は豊富なプログラムが用意されている当施設が最寄り近畿圏の11店舗(天王寺店は女性専用)での利用が可能。無料利用券は学生課で交付している。無料利用券には限りがあるので先着順に交付している。

画・準備・運営に当たり、いつまでも思い出に残る楽しいパーティーとなった。

マシンもそろった東急スポーツオアシス

スポーツ特別実技

白銀の世界で、スキー実習
全員3級に合格!

教職課程「保健体育」の必修科目のスポーツ特別実技「スキー実習」が2月6日(月)~2月10日(金)まで4泊5日の日程で、長野県北安曇郡白馬村八方で開催された。松熊善昭教授、雄賀英一講師の引率指導のもとで、受講生は28名、将来の教諭を夢みて全員が頑張った。

2月6日(月)、大学に集合した受講生は、事前説明会で持参物の確認や、諸注意事項の徹底があり、バスで実習場所である八方に向かった。翌朝、宿泊する「山の郷」ホテル白馬ひふみに到着した。部屋割りをするまで、スキー、ウェア、ゼッケン等の配布、調整が行われ、実習会場のゲレンデに向かった。今年例年よりも雪が多く、目の前に白銀の世界が広がって別世界のようにであった。実習開始に先立ち、開講式が行われた。インストラクターより実習全体を通しての説明、6名のインストラクターの紹介、班編成の確認等があり、最後に学生代表の挨拶があり開講式が終わった。開講式終了後班ごとに分かれ、早速実技に入った。初めてスキーに挑戦する学生は、スキーが思うようにいかず、慣れるにすぎない。まっすぐ思うように歩けるようになった。最初の実技は、方向転換の仕方、長いスキーのため足元の自由がきかず姿勢が崩れてしりもちをついたり何人もいた。次は止まり方の実習で、スキーの先を揃えるのがスナと雪に慣れる余裕のポーズ

難しく、マスターするのが大変だった。約3時間の実技時間で、初心者もスキーに慣れてスムーズに動けるようになりスキーの面白みがわかりかけた雰囲気だった。

3日目は、午前2時間、午後3時間の実技があり、S字滑降に挑戦した。スキーを横に揃えて、S字滑降を上手に滑るようになり、一人ひとりが滑った。左右交互に片足に体重をかけるのだが、エッジの使い方が思うようにならず、真っすぐ滑ってしまうことも何回もあった。またスピードが出すぎてしりもちをつく人もかなりあった。それでも終了するころにはほとんどの人がS字滑降が出来るようになっていた。4日午前2時間、午後3時間S字滑降を中心とした実技に取り組んだ。前日スムーズに滑れなかった人も慣れたこともありスムーズに滑れるようになっていた。終了前に、最終日に行われるパジテストの説明があり全員がはいった。

最終日、朝食後全員パジテストを受けた。懸命に実技実習に取り組んだため、全員3級に合格した。パジテスト終了後、開講式があり、学生代表が挨拶の挨拶を、4泊5日のスキー実習が無事終了した。参加した学生からは、スキーを本格的に習うのは初めてで最初しりもちばかりついていて、慣れるにしたがいスムーズに滑れるようになり楽しかった。今回3級のパジテストに合格したので、機会があれば2級挑戦したい」との声があり、28名の参加者は満足感に溢れていた。

パジテスト合格証を手に喜ぶ受講生

長いスキー板に悪戦苦闘の受講生

2006年度入学試験結果 最終志願倍率2.0倍

(編入者含む対入定員倍率)

選考種別	人間学部				総合経営学部				両学部合計			
	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	志願倍率	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	志願倍率	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	志願倍率
大学入試センター利用入試	18	18	13	1.4	5	5	3	1.7	23	23	16	1.4
一般入試	149	141	70	2.1	52	52	43	1.2	201	193	113	1.8
推薦入試	公募	100	96	1.5	39	37	34	1.2	139	133	102	1.4
	指定校	196	196	1.0	73	73	73	1.0	269	269	269	1.0
アグリメント入学(AE)方式	73	73	62	1.2	15	15	11	1.4	88	88	73	1.2

「情報」授業充実に向けて

高等学校補助員派遣制度

本学では、高等学校「情報」授業に学生補助員(スチューデント・アシスタント)を派遣し、学生を持つ情報関連知識、技術を生かすことで、高等学校の情報授業が一段と充実し、学生にとっても教育現場を経験することで、就職活動の貴重な経験になるものと期待して、平成17年度からこの制度を定めました。平成17年9月1日より、大阪府立泉南高等学校に、総合経営学部情報学科4年次生の泉大樹君の派遣を開始しました。泉大樹君は本年2月末で派遣期間が終了しましたが、高等学校から非常に高い評価をいただき、高等学校から非常に高い評価をいただき、この制度が高等学校側にもメリットがある事が確認されました。本学では引き続き、人間学部心理学科3年次生の阿曾由佳さんや、人間学部心理学科3年次生の阿曾由佳さんを派遣することが決定しました。3月3日(金)吉川博史教務部長、泉大樹君、阿曾由佳さんの3名が、大阪府立泉南高等学校を訪問して挨拶しました。高等学校側の本派遣制度への期待は大きく、本学として万全の支援体制を継続していきたい。さらに、大阪府立住吉高等学校と連携の話し合いが続いており、本年4月より総合経営学部経営情報学科4年次生の巽雄洋君を派遣する予定である。



大阪府立泉南高校を表敬訪問した(左から)吉川教務部長、阿曾さん、泉君

希望に満ちたキャンパス

第9回入学宣誓式



厳粛に行われた入学宣誓式

第9回入学宣誓式が、4月5日(水)午前10時30分より、はじめに新歓が行われ、足立記念館3Fホールで喜びのなか厳粛に行われた。まず、足立理事学長が、「論語」『徒然草』の一部を引用し、学びの基本姿勢と大学生生活のもつ意義等について、全学あげて支援する旨の式辞があった。次に新入学生484名を代表して、人間学部心理学科の仲村ゆきのさんが力強く入学宣誓をした。続いて、来賓を代表して木原堺市長の祝辞を堺市教育委員会の福永博理事が代読された。最後に、在学生代表として人間学部心理学科の至田由佳里さんより温かい歓迎の言葉があり、新入学生全員が感激を新たに式を終え力強くキャンパスライフの第一歩を踏み出した。

女子駅伝部 宮井佑華選手

大阪国際女子マラソンで完走!

116位で来年のシード権を獲得

女子駅伝部 宮井佑華選手(人間学部心理学科4年次生)は、1月29日(日)に開催された、第25回大阪国際女子マラソン大会に昨年に続いて出場し、3時間7分18秒で完走者290名中116位となり来年のシード権を獲得した。スタート・ゴール地点の長居陸上競技場や沿道

女子駅伝部 森本 恵選手

第23回全国都道府県対抗女子駅伝で力走

女子駅伝部 森本 恵選手(人間学部人間文化学科2年次生)は、1月15日(日)京都市で開催された第23回全国都道府県対抗女子駅伝大会鳥取県代表として出場

大学祭チャリティー募金 パキスタン地震 救援金に寄託

1月20日(金)、財団法人毎日新聞社会事業団にパキスタン地震救援金として合計24万3706円を寄託した。11月23日(祭)に開催された第19回さつき野祭(大学祭)のチャリティー餅つき大会募金、バザー売上金、模擬店売上金を合算したものを、ご協力いただいた皆様によりお礼申し上げます。



義援金を手渡す藤村学生課課長(中央)

卒業研究 4年間の研究成果を

発表会

総合経営学部では、平成17年度の卒業研究発表会を、2月7日(火)、8日(水)の2日間で開催した。この卒業研究発表会は、学生の研究に対する学習意欲の向上、情報機器等を活用したプレゼンテーション能力の向上、レジュメの作り方、将来学会や企業内での報告会に対する研修等狙って企画されたもの。発表形式は自由で、持ち時間は10分。パワーポイント等を駆使しての発表で、発表者は緊張しながらも真剣に取り組んだ。発表者はこの日のために、ある時は一人、ある時は友人と、ある時はゼミの先生と時間のたつのも忘れて準備したという。それぞれの発表に努力のあとが感じられ、胸にジーンとする発表もあった。発表のあと先生や参加した学生



研究の成果を発表する学生たち

世界選手権代表に内定 競泳 第82回日本選手権

優勝 女子200メートルバタフライ タイム2分8秒34

矢野 友理江選手(高3)

アジア室内選手権大会

女子走り高跳び 6位入賞

陸上競技部 三村 有希選手(高3) 記録 1メートル74センチ

開催地 タイ王国・パタヤ 期間 平成18年2月10日~12日



活躍ぶりを称える垂れ幕



陸上競技部・三村有希選手と指導の坂井裕司教諭(右)

全国高等学校選抜大会に出場

剣道部

会場 春日井総合体育館 日程 平成18年3月27日~28日

体操競技部

会場 富山市総合体育館 日程 平成18年3月27日~28日

併設校 Topics

太成学院大学高等学校